

新人スタッフ・つぶやき

◆先日、アニメーション映画界の巨匠宮崎駿監督が「今回は本気です。」と引退会見を開かれました。私もスタジオジブリが送り出す映画のファンの一にいます。彼が創る映画を観る度に何かいつも懐かしさを感じました。それは表現を変えれば「懐かしさ」ではなく「怖さ」だったように思います。子どもの頃感じた「夜の怖さ」「森の怖さ」だったりです。その自分が子どもの頃感じた怖さの一つに「お葬式」があります。やはり以前は「死」の恐怖から遠ざけようと、「風習」「迷信」「言い伝え」など様々な角度で教えがあったように思います。最近は家族葬が増え本当にアットホームで、温かい葬儀をみなさまが希望されるようになりました。とてもいい事だと思いますし「葬儀」=「怖い」の概念が必要だとは思いません。でもやはり何か忘れてはいけない物、伝えていかなくてはならない物があるかと思っています。それが何かはわかりませんが、これからもみなさんと一緒に探していきたいと思っています。 坂上一己

◆僕には宝物があります... 40代のお母様が亡くなり、娘さん2人、御主人、おじい様... 4人だけのお葬式。当時は200人規模の葬儀が主流でした。そんな中、「家族葬」という「ことば」はありましたが、概念としての確立はなく、私自身戸惑いながらの担当でした。故人様の希望での「家族葬」... 要望もかなり多く、はじめてのことだらけで「正解」すら解らないままでした。「お母さんが、自分の葬儀を決めて行ったの、助けて下さい。」娘様からの言葉で、全てが動き始めました。出棺まで流しておく音楽、式場の飾り方、遺影写真等々、ここからは葬儀社としてのプライドに火が付き、サプライズで家族写真を原寸大のパネルにし食卓にお母様がいらっしゃるような、会食をセッティング、好きだったお花を「お取り寄せ」、棺の安置を家族の傍に、好きだったコーヒーの香り一杯に... 癒される空間づくりを第一に考えお別れしたことを覚えています。全てが終わり、お帰りになられる時「これを...」と色紙を一枚。僕への「ありがとう」が一杯の色紙... 涙が止まりませんでした。「色紙・思い出・出会い」... 今では全てが僕の「宝物」です。 中嶋 嘉睦



おすすめBOOK



『この世で大切なものってなんですか』
朝日新書 価格(本体七〇〇円+税)
酒井雄哉 池上彰

荒行、千日回峰行を2度も満行した比叡山の酒井雄哉大阿闍梨と、時代を分かりやすく読み解く、池上彰氏が出合った！談笑。人はなぜ争うのか。「無縁社会」のなかでどう生きるのか。生まれてきた意味は？そして、この世で「いちばん大切なもの」とは...。素朴な疑問に一つひとつ、笑みを浮かべながら淡々と、解りやすく答えています。



【タクシー】JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より、距離2km、所要時間約5分です。
【バス】JR岐阜駅前7番のりば（G線島ルート）乗車、本荘1バス停下車東へ徒歩1分です。

あいクラブ通信

発行：25年10月1日
Vol.7
Autumn



写真：キバナコスモス（黄花秋桜） 花言葉：野生美・幼い恋心 撮影：市川雅清

「遠くて近いもの」こそ最高！！

遠いとは人間の性から遠いもの、近いとは自分の住んでいる土地に近いところで採れたものという意味です。牛や豚などは人間の性から近いものであるし、穀物や野菜などの植物性のものは、遠いものということになります。人間の様々な民族文化、風俗習慣などは、それぞれの地域性・環境性による「食」から生じ、形成されていることは、マクロビオティックなど食養生について研究する人々にとってはもはや常識となっています。このような、「人」と「土地」との一体性は、昔から「身土不二」（しんどふじ）と呼ばれてきました。日本人は日本の「土」から採れた穀物や野菜類（魚介類）でその身を養っていけるようになっているのです。人の歯の形状は、臼歯（きゅうし）を中心として穀菜食仕様になっていますし、日本人の腸の長さは西洋人に比べると2メートルも長く、伝統的に穀菜食であることを証明しています。これを無視して、動物性に偏ったり、ただ安いからとか美味しいからとかいって外国産のものばかり食べていると、必ず体は病むことになります。体に不調が生じて免疫力が低下して、一度かかると完治することは難しい「生活習慣病」が待ち構えています。お互いに気を付けたいものです！この世の中、疑問や心配ばかりですね...

DETA
カメラ：キャノン EOS 5D Mk II
レンズ：EF100F2.8L マクロ IS USM
絞り：F6.3
ホワイトバランス：曇り
シャッタースピード：1/50
ISO感度：200
補正：+1/3

目次

- P-1 ごあいさつ
表紙写真 市川雅清
- P-2 今を生きるための
「生前準備」生前準備実践講座
- P-3 心にのこった...ご葬儀⑦
- P-4 おすすめBOOK
『この世で大切なものってなんですか』
スタッフ・つぶやき
お知らせ

あいクラブ** 編集事務局
岐阜県岐阜市本町 3丁目18番地
0120-00-4243
<http://www.ichikawa-souten.jp> ☆[岐阜市家族葬]で検索!

「やわらぎの家族葬」貸切型セレモニーハウス
FUNEAM
市川フューネアム
ICHIKAWA

心にのこるご葬儀を.....
株式会社市川葬典
〒500-8034 岐阜市本町3丁目18番地
TEL 058-262-0042 FAX 058-265-3644

自分の人生を自分らしく、美しく完成させるための…終括「生前準備」講座 市川雅清

実践講座 第2章

今を大切に生きるために…

(4) お葬式その1. (埋葬倫理)

「葬式は、要らない」島田裕巳著、「葬儀は必要！」一条真也著「お葬式をどうするか」ひろさちや著などという大きなタイトル文字が新聞を飾る時代です。今や、出版会は葬式本ブーム。反論本や関連書が続々と出版されています。

団塊の世代が主な読者層となってベストセラー連発という状態です。宗教学者の立場、葬祭業者の立場、宗教者の立場あるいは消費者の立場と、色々興味深い内容が満載ですが、「で、私はどうすればいいの…」と迷ってしまいます。

自分では、絶対にすることが出来ない「自分の葬儀」をどうすべきなのか？ 家族に、どうしてもらいたいのか？ 自分の良心と倫理に従って考えたいと思います。

「お葬式」はもともと宗教儀式ではありません。入学式、成人式、結婚式などと同じように人生における通過儀礼のひとつだと考えるのが、もっとも自然なものです。お釈迦様もイエス様も葬儀に特別な意義を持たせてはならない、と戒めています。日本の葬儀に寺院（宗教者）を迎えるのは、江戸幕府の宗教統制制度から生まれた寺請制度が始まりで、日本特有のものでした。

葬儀というものは、その時代や置かれた環境こそ違えど、故人の尊厳を守ることと残された人たちが心のけじめをつけるための儀式だと言えます。儀式という「形あるもの」には「ちから」が宿り、親しい人が消えていくことによる不安が癒されています。お葬式を行う最大の意味は、ここにあるのではないのでしょうか。

史上最高の哲学者とよばれるドイツのヘーゲルも、儒教の孟子と同様の主張を述べ、「親の埋葬倫理」ということを説いています。親に限らず、愛する人の葬儀をあげることは、人

間として当然であることは言うまでもありません。約6万年前にネアンデルタール人が死者に花を手向けた瞬間（化石の発見）から、サルがヒトになったとも言われるほど、葬儀は「人類の精神的存在基盤」とも呼べるものなのです。

今話題になっているのが、火葬のみで済ませる「直葬」です。葬儀のあり方が便利さを求めるようになり、大切な人を送ることがその価値さえも簡素化・簡略化されてきている風潮です。一般的な葬儀が形骸化し、その価値が失われたことで、簡素な葬儀を望む声が多数を占めるようになってきました。

昔から、経済的事情で直接火葬場に送られるケースはありました。しかし、次第に経済的事情だけでなく、「お葬式にお金をかけたくない！」という考え方に基づく「直葬」と呼ばれる火葬場送りが増えてきたのです。リーズナブルな葬儀＝直葬だと思われるようです。「弔う気持ちがない葬儀なら」かける金額とは無関係に、その葬儀には意味はありません。亡くなった人を想い、遺族や送る側の人々が弔う気持ちをしっかりと持つこと！そして、葬祭業者と宗教者がこれから最も大切にすべきことは何かを、今見つめ直し、真剣に考えないといけない時期だと思えます。

次回、第8号（新年1月号）の予告 実践講座（4）お葬式その2.

葬儀の中で行われる儀式について、解りやすく解説しながら、葬儀の意味について考えたいと思います。お楽しみに…



●自己紹介（いちかわまさきよ）
1955年生・B型・おうし座
一般葬祭ディレクター
技能審査協会審査官
ライフ終括アドバイザー
趣味/写真・登山・心学研究
座右の銘/単純、明快、矛盾なし
大切にしているもの…/見えないもの、見えないところを大切に



心にのこった…ご葬儀 ⑦

19才という若さで静かに旅立った彼…若光院釈翔空

S君は、痛みや苦しさから解放されて穏やかな表情でベッドに居ました。「少しでも長くベッドの上で…」というお母様のご希望で、自宅から式場への移動直前のご納棺となりました。予定時刻に伺いますと、たくさんのお友達が彼にお別れする為に集まっていました。お父様が皆に彼の事をお話されていました。ご納棺はご親族様だけで行われ、お友達はS君へのメッセージを書いたり、折り鶴を折ったりしてくれました。そして、式場へのご出棺はお友達が棺に手を添えられ、その優しいぬくもりに包まれて霊柩車へと運ばれました。ご葬儀はゆっくりお別れしたいというご家族の希望で、家族葬で執り行うことになっていました。お友達は最後のお別れに自宅へ来てくれたのです。

式場の中には、友人から寄せられたメッセージボードが1枚。ご家族が選んだ思い出のお写真が貼られた、大きなボードが3枚置かれていました。その1枚1枚にメッセージが添えられ、折り鶴もたくさん貼られていました。懐かしい思い出とともに、より一層悲しみがこみあげてきました。祭壇には彼が大好きだった「カレーライス」と一口大に切った「りんご」をお供えしました。費沢を好まずいつも自然体だったS君らしい好物です。



悲しい、悲しいお別れでした。でも彼が残してしてくれたもの。大切な宝物は今でもご家族の心の中で生きています。

ご両親は彼の貯金の一部を通っていた高校へ寄付されました。その資金で先生方が後輩の為に理系の本を購入して「S君文庫」と名づけ、彼が生きた証として、想いを形にして下さったそうです。

お母様より「みんなが楽しそうに集うその片隅に、そっとたたくすみ、いつも笑顔の輪の中にいました。争いごとが嫌いで、いつも自分の思いは控えめに、まわりの幸せを考えてくれました。誰もが口を揃えて「優しい子だね」と言ってくれました。いまだ

きの子には珍しく、何か、ものを欲しがるといふこと（物欲）もなく、着飾るわけでもなく、当たり前にあるまま。普通でいることが幸せだったような…。末っ子なのに、精神的にはすぐ大人ぽかった。病気を真正面から受け止めて戦い抜きました。生まれてきてくれて本当にありがとう。」

法名「若光院釈翔空」…命の故郷へと還り往かれしS君は、その名のごとく元気な姿になって大空を飛びまわっていることでしょう。久美子

暮らしにアイデア
手軽にできる。
ヘルシー！安い！美味しい！
「冬瓜のツナサラダ」
はいかが？

- 材料（4人前）
・冬瓜 1/2（小さ目）・塩 小さじ1
・ツナ缶 1・めんつゆ 大さじ1~2
（3倍濃縮タイプ）
- 作り方
1. 冬瓜の皮をむいて、種を取り、厚さ5mmのいちょう切りにする。
2. ボウルに入れて塩を揉みこんで塩もみ！
3. しばらく置き、水を絞ります。塩気が気になるなら、一度水洗い。
4. ツナ缶の油を切って投入。めんつゆを、味を見ながら混ぜて完成。